



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 東都水産株式会社
 コード番号 8038 URL <https://www.tohsui.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江原 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田中 浩

TEL 03-6633-1005

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	89,900	0.4	788	0.7	970	9.5	728	1.5
2019年3月期第3四半期	89,552	1.3	793	19.3	1,071	7.5	740	30.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 716百万円 (55.1%) 2019年3月期第3四半期 462百万円 (52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	188.65	
2019年3月期第3四半期	188.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	31,971	16,395	51.3	4,167.04
2019年3月期	29,204	15,626	53.5	4,093.69

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,395百万円 2019年3月期 15,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				65.00	65.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.1	1,200	11.9	1,400	18.0	1,000	27.6	257.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,026,000 株	2019年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	91,500 株	2019年3月期	208,764 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	3,864,246 株	2019年3月期3Q	3,918,421 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済減速などを背景に輸出が減少傾向にある一方、設備投資や個人消費等、内需は堅調さを維持し、緩やかではありますが回復基調を維持いたしました。

一方海外経済においては、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題など、依然先行き不透明な状況は続いております。

水産物卸売市場業界におきましては、海外での需要増加により仕入価格が高止まりし、水産資源の減少や魚の回遊水域の変化による漁獲量の減少、さらに市場外流通との競合とも相俟って取扱数量の減少が続くという厳しい事業環境で推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、今期より本格的に稼働いたしました当社海外事業部による輸出取引の増加及び川越水産市場(株)において、2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等により前年同四半期連結累計期間と比べ0.4%増加の89,900百万円となりました。営業利益は、当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べ0.7%減少の788百万円となりました。経常利益は(株)埼玉県魚市場で物流センター建設に伴う補助金収入があったものの、受取配当金及び為替差益の減少等により前年同四半期連結累計期間と比べ9.5%減少の970百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期連結累計期間と比べ1.5%減少の728百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①水産物卸売事業

売上高につきましては、当社海外事業部による輸出取引の増加及び取扱高の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて1.7%増加の84,414百万円となりました。営業利益は、当社海外事業部の輸出取引に係る物流経費が増加したものの、売上総利益の増加等により、前年同四半期連結累計期間と比べて32.9%増加の434百万円となりました。

②冷蔵倉庫及びその関連事業

売上高につきましては、当社で所有していた東京冷凍工場の閉鎖及びAERO TRADING社の売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間と比べて19.1%減少の4,946百万円となりました。営業利益は、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、前年同四半期連結累計期間と比べて24.8%減少の221百万円となりました。

③不動産賃貸事業

売上高につきましては、川越水産市場(株)において2019年4月より運営を開始いたしました一般消費者向け小売店舗「生鮮漁港川越」の売上高増加等によって、前年同四半期連結累計期間と比べて16.5%増加の539百万円となりました。営業利益は、賃貸物件の稼働率低下等に伴い、前年同四半期連結累計期間と比べて17.0%減少の146百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,767百万円増加し、31,971百万円となりました。流動資産は1,942百万円増加し、19,044百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,319百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が3,205百万円増加したことによるものです。固定資産は825百万円増加し、12,927百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物が229百万円、無形固定資産が472百万円、投資その他の資産のうち、その他に含まれております投資有価証券が277百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,998百万円増加し、15,576百万円となりました。流動負債は2,373百万円増加し、9,511百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2,573百万円増加したことによるものです。固定負債は375百万円減少し、6,065百万円となりました。主な要因は、長期借入金が480百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ768百万円増加し、16,395百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が477百万円増加しましたが、自己株式が266百万円減少したことによるものです。この結果、総資産が増加したことにより自己資本比率は、前連結会計年度末の53.5%から減少し51.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月7日に発表しました数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,078	5,759
受取手形及び売掛金	6,779	9,984
商品及び製品	3,351	3,431
仕掛品	4	12
原材料及び貯蔵品	201	63
その他	345	463
貸倒引当金	△658	△670
流動資産合計	17,102	19,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,516	3,746
土地	3,194	3,193
その他(純額)	1,223	1,105
有形固定資産合計	7,934	8,045
無形固定資産		
投資その他の資産	1,591	2,064
投資その他の資産		
その他	2,767	3,041
貸倒引当金	△191	△223
投資その他の資産合計	2,576	2,818
固定資産合計	12,102	12,927
資産合計	29,204	31,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189	5,762
短期借入金	2,939	2,739
未払法人税等	72	95
賞与引当金	90	18
株主優待引当金	—	5
その他	845	889
流動負債合計	7,137	9,511
固定負債		
長期借入金	3,587	3,107
退職給付に係る負債	1,130	1,082
株式給付引当金	28	23
資産除去債務	84	127
その他	1,609	1,723
固定負債合計	6,440	6,065
負債合計	13,577	15,576

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,085
利益剰余金	12,512	12,990
自己株式	△462	△196
株主資本合計	15,474	16,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	490	469
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△675	△677
退職給付に係る調整累計額	△24	△12
その他の包括利益累計額合計	152	139
純資産合計	15,626	16,395
負債純資産合計	29,204	31,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	89,552	89,900
売上原価	84,838	85,187
売上総利益	4,713	4,713
販売費及び一般管理費	3,919	3,924
営業利益	793	788
営業外収益		
受取利息	34	46
受取配当金	118	78
補助金収入	—	33
通貨スワップ評価益	5	9
為替差益	36	3
受取補償金	56	—
その他	89	35
営業外収益合計	342	207
営業外費用		
支払利息	24	21
割増退職金	18	—
その他	21	4
営業外費用合計	64	25
経常利益	1,071	970
税金等調整前四半期純利益	1,071	970
法人税、住民税及び事業税	162	179
法人税等調整額	169	61
法人税等合計	331	241
四半期純利益	740	728
親会社株主に帰属する四半期純利益	740	728

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	740	728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	△21
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	△173	△2
退職給付に係る調整額	27	11
その他の包括利益合計	△277	△12
四半期包括利益	462	716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462	716
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月20日開催の取締役会決議に基づき、株式会社魚力と資本業務提携契約を締結し、2019年9月5日に同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分(115,600株)を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金は36百万円増加し、自己株式は266百万円減少しました。当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は1,085百万円、自己株式は196百万円となっております。

(追加情報)

(従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-E S O P)」を導入しております。

(1) 取引の概要

一定の要件を満たした従業員に対し当社株式を給付する仕組みで、個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理を行います。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額は除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度94百万円、47千株、当第3四半期連結会計期間91百万円、45千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	82,971	6,117	463	89,552	—	89,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256	1,013	55	1,325	△1,325	—
計	83,227	7,131	518	90,877	△1,325	89,552
セグメント利益	326	294	176	798	△4	793

(注)1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,414	4,946	539	89,900	—	89,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	745	55	875	△875	—
計	84,488	5,692	594	90,776	△875	89,900
セグメント利益	434	221	146	802	△14	788

(注)1. セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。